

市長と語るのついで！笠間タウンセンターキンググ開催報告

6月から7月にかけて、市民の皆さんを対象として6回の市政懇談会を開催しました。

今年度は、懇談会とあわせて筑波海軍航空隊記念館の施設見学や吾国愛宕ハイキングコースの散策を行ったり、農業をテーマにしたりと例年とは違った懇談会も開催しました。

懇談内容の一部を紹介しますが、その他にも各地域の課題等についてたくさんのご意見をいただきました。詳しくは、笠間市ホームページ「市政懇談会（平成26年度）」をご覧ください。

笠間城跡の調査について

Q 笠間城は、全国でも珍しい山城の一つであるといわれ、非常に貴重な文化財だと思う。専門家による調査をしていると聞いたが、調査がどの程度まで進んでいるのか、また今後の見通しがどうなっているのか。

A 平成25年度に基礎調査を行い、国の指定を受けるに十分足りうる史跡だということが報告されました。今後は、史跡指定に向けての調査を始めます。

指定を受けるまでには、一般的に5～10年をかけた細やかな調査が必要となり、時間がかかると思われます。笠間城跡として指定するエリアを広げると、広範囲となった分だけ調査に時間もかかり、お金もかかるので、まずは佐白山の山頂から麓の駐車場のあたりまでということを進めていきます。

筑波海軍航空隊記念館の今後について

Q 筑波海軍航空隊記念館は、県の建物だが、今後はどのように活用されていくのか。

A 県の建物なので、活用や保存については県との協議が必要となります。来年は、終戦70年なので平成27年8月31日までは公開していきたいと考えていますが、その後、どのようにするかは、市でも県でも決まっています。記念館の運営については課題があり、閉館も一つの選択肢にならないかもしれませんが、今後については、県と話し合い、課題の解決に取り組みたいと思います。



筑波海軍航空隊記念館であいさつを述べる山口市長

岩間駅東大通り線と日吉町古市線の整備について

Q 岩間駅東大通り線を東口からまっすぐ行くと吉岡中央という交差点で日吉町古市線と交わる。岩間駅東大通り線は工事中だが、日吉町古市線は、交差点から南側は整備するのか。

A 岩間駅東大通り線は、途中まで供用され、その先は工事をしている状況です。岩間支所の前から吉岡二区公民館へ向かう道と交差したところまでが、平成27年に供用予定で、そこから国道355号までは、平成28年に供用する予定です。

日吉町古市線については、上吉影岩間線と水戸岩間線をつなぐ道路ということで計画しています。岩間駅東大通

り線の供用が完了してから、事業化の検討に入る予定なので、整備完了となる時期は確定していません。

生活道路の整備について

Q 家の周りの狭い道路は砂利道で、雨が降ると水たまりができてしまう。砂利を敷き直しても元通りになってしまうので、舗装してもらいたい。

A 旧3市町を結ぶ道路や幹線道路は整備が進んできたのではないかと思っています。しかし、生活道路は3地区とも狭いところや砂利道も多くあるため、これからは幹線道路の整備から生活道路の整備へウエイトを置く取組みをしています。ただ、今まで舗装できていない道は、幅が難しいなど舗装できない理由がいろいろあるので、簡単にすべてが整備できるわけではありませんが、路線ごとに対応していきたいと思えます。

新規就農者の相談窓口について

Q 農業を始めたが、何もわからない。新規就農者にとって、JA、農業委員会など農業に関する組織がいくつもあり、よくわからない。新規就農者でもわかりやすいようなパンフレットや相談できる場はないのか。

A 新規就農者のための相談窓口は、市の農政課や農業委員会にあるので

